

護国寺の森の緑が濃さを増してきた。その緑にしばらく目をとめてみると、最近、熱い思いをもって読んだ書物のことが心に浮んできた。

そのひとつは、私が米留学当時にお世話になった北川台輔氏の遺稿、「人格の完成を求めて」という文章である。聖公会の司祭であり、第二次世界大戦の最中に、米国にあって日系人のために尽力し、戦後は世界キリスト教協議会の指導者として、アメリカ国内のみならず、フリカ、ベトナムなどの人種問題のことで国際的に活躍された。私は、氏がいつも他人の世話と雑用に、忙しく追われながら、私もまたその雑用をふやしたひとりなのであるが、私の話をきいて下さったとき、心にふれたスピリットを忘れることができない。私が疲れて人と会うのも面倒な思いのときに思い出すのは、この先生にふれたときのスピリットである。先生は、学者を志しながら、人の世

話で一生を終えられた方である。スイスで、六十歳で亡くなってから十年になるが、最近、再びその遺稿を読み返し、忙しく動いておられた先生の心の中にあつたのはこういうことだったかと、あらためて目を眩らされた。一万タラントの負債のある家来に対して、主人がその負債をゆるしたという新約聖書のたとえ話を解説して、「二万タラントの大金と、この家来と自分との間にある交わりとを比較してみる時、この主人には交わりの方が比較にならぬ程に貴く値高いものであつた」。一見不合理なたとえ話の中に「交わりを無上に尊重する心」を読み、「交わりの維持成長のために全世界の富をさえ使用することを惜しんでほならない」と言われ、これこそが人が一人前になることとの条件であると述べられる。

子どもとの間で、私はスピリットを残しているだろうかと護国寺の緑の中であらためて考えた。

(津守真)

幼児の教育

第八十巻 第八号

八月号 © 定価二七〇円

昭和五十六年 七月二十五日 印刷

昭和五十六年 八月 一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行人

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

111 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

©本誌御購読についての御注文は発売所
所 フレーベル館にお願いたします

※万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。